



2009～2010年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーの未来はあなたの手に

事務局・例会場 鹿児島東急イン
〒890-0053 鹿児島市中央町5-1-9F
TEL 090-5295-2736
FAX 099-251-5290
例会日 毎週木曜日 12:30～13:30

会 長 松田 泉
会長エレクト 前田 正幸
幹 事 井川 良仁
編 集 会報・広報委員会

Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp ホームページ <http://www.ri2730.org/southern/>

Vol. 14-21

第595回例会 平成21年12月3日(木) プログラム「年次総会」

前回第594回例会[11月26日(木)]の報告 於：東急イン

【会長アドレス】会長 松田 泉

本日は23日にフェローシップ委員会の主催で行われました霧島紅葉ウォーキングについて話します。当日会員の日頃の行いのためかとても良いお天気の中、21名の参加で鹿児島中央駅を8時半に出発し、霧島を目指しました。バスの中では、松藤さん手作りの焼きおにぎり、サンドイッチ、紅茶、コーヒーが朝食を食べていない方のために出され、その心遣いに感謝しながら頂きました。霧島でバスを降り、不動池の傍を通る約2時間のウォーキングコースを皆で歩きました。平らな道と聞いていましたが、上り下りの石ころのごろごろしている道が結構あり、こういう道に歩き慣れていない私のような者はかなり苦勞しました。紅葉には少し遅いようでしたが、きれいな空気の中を歩くことは大変気持ちの良いもので、昼食に「まるい」(井川さん)の特注弁当と何と松藤さん、梅木さん手作りのお鍋2杯の豚汁を頂きました。フェローシップ委員会の方がガスコンロや携帯ボンベも用意され、自然のきれいな空気の中での暖かい豚汁は絶品でした。柳橋さんは山歩きに慣れておられるようで、歩きやすいコース取りを選ばれていました。その後、霧島神宮に寄り、高千穂牧場の美味しいソフトクリームを食べて帰途につきました。事務局の田中さんも参加され、また永田さんも元気に歩かれ、日頃なかなか話す機会の無い方とも話したりでき、本当に楽しい1日でした。企画されたフェローシップ委員会の皆様、有難うございました。

もう一つ、最近何が本当の幸せだろうかよく考えます。お金のあることは確かにその重要なポイントかもしれないし、無いための不幸も確かにあります。しかしお金持ちで幸福なはずなのに、そう感じることでできない人もいます。私は一生のうち、心が震える感動の多いことが幸せなのではないかと思うようになりました。その感動は大きいこともありますし、些細なこともあります。芸術、スポーツ、人(出会い、人格)、動物、自然など感じることでできることは溢れています。多くのことに参加し、多くの方と知り合い、心の財産を増やしましょう。

【会務報告】幹事 井川良仁

- ① 入会3年未満の方対象のオリエンテーションを12/17(木)例会後13:30～14:30まで行いますので、対象者の方々はご出席をお願いします。(担当：研修・選考委員会)

【ゲスト】(卓話者) 沈壽官様

【ビジター】鹿児島RC・・・岩本優君

【米山記念奨学会寄付】11/26 前田正幸君・平恵子君
クラブ細則の改正

11月19日の例会において、第2条及び第3条に記載してある理事の人数を6名から7名に改正することが承認されました。(11月19日の例会は定足数を満たしており、出席会員の3分の2以上が賛成しました。)

【ニコニコBOX】

◆池田耕夫君 15代沈壽官様、本日は卓話宜しくお願ひします。

◆永田優治君 先日の霧島日帰り旅行、フェローシップ委員会の皆様御苦勞様でした。私の足元を気使っていただき、有難うございました。

《ニコニコBOX累計額 ¥146,333-》

【ゴメンナサイBOX】

◆赤塚晴彦君 喰い物の恨みは恐ろしい。員数外の飛び込み参加の為、柳橋君の弁当がありませんでした。ゴメンね。

《ゴメンナサイBOX累計額 ¥10,000-》

《次回(第596回)例会のお知らせ》

日 時：H21年12月10日(木) 12:30～13:30

場 所：東急イン2F

プログラム：外部卓話 (有)アルテミス 代表取締役

乙守美千代様

鹿児島サザンウインドロータリークラブ

2009～2010年度 クラブテーマ 「善いことを思い 実行しよう！」

【プログラム】外部卓話 薩摩焼 15代 沈 壽官様
＜プロフィール＞

生年月日：昭和 34 年 8 月 28 日

1983年 早稲田大学 卒業

1984年 京都市立工業試験場 修了

1985年 京都府立陶工高等技術専門学校 修了

1986年 イタリア国立美術陶芸学校

GAETANO BALLARDINI ファエン
ツァ校 専攻科入学

1988年 イタリア国立美術陶芸学校 卒業

1990年 大韓民国京畿道 金一萬土器工場にてキ
ムチ壺制作 修業

1999年 1月 15日 15代 沈 壽官を襲名
現在に至る

「陶房雑話」『李朝陶芸の伝統を伝え薩摩の歴史と共に歩んできた沈家 400 年の歴史』薩摩焼の陶祖は、慶長三年（1598 年）秀吉の朝鮮侵略の帰途、現在の全羅北道南原より日本に連行されて来た朝鮮人の大半は単純労働力として日本に来ましたが、その中に多数のきら星のように輝く技術者や手仕事の専門家が混じっていたのです。日本に来ては更に宝物を産み続けたのです。捕虜という悲しい身分の工人達の努力で、やがて徳川時代 300 年の間に、江戸文化という名で花開いてゆくのです。



薩摩焼もこの一連の移動の時に薩摩の領主、島津義弘によって連行された陶工達により始められた一つの産業だったのです。しかし文化が育つには条件があります。必要な資源資材がなければ、細工は出来ず、そのために工人の非常な努力と適応性が問われるのです。火山灰に覆われた鹿児島では陶土の入手が難しく、それだけに創業は困難を極めました。

（焼物文化の始まり） 慶長 3 年、時は旧暦 12 月、東支那海が最も荒れる時期でもあります。激戦で傷つき、風浪に弄ばれて、航行の自由すら奪われた三隻の船には、約 80 数名の陶工達が詰め込まれていたのです。その中で、運が良かったのか、一隻は何とか勇気を振って、薩摩半島の尖端を廻り、目的の鹿児島湾に到着しました。古書には 20 数名の朝鮮人の数が記されています。しかし城下に着いたこの船に乗せられた陶工達は、その後の運には恵まれず、窯を開くこともなく時が過ぎ、藩が苗代川に移し、陶工本来の仕事に就けるようになったのは、上陸後、70 年経ってからのことです。しかし彼等は城下町の一隅の自分等の住んだ場所に、高麗町という名を残して行ったことは、面白い事で、今尚その地名は生きているのです。次の一隻は、10 数名が乗っていたと言われますが、この船は日置郡の市来海岸に着いています。白砂青松の吹

上浜と呼ばれる景勝の地に漂着着船した船の中には、やがて薩摩官窯の開祖になる名工金海が乗り込んでいました。茶道に精通し、利休居士の十哲の一人と称される島津義弘に愛されて、金海はその命令を受けて、上方（恐らく瀬戸地方）に日本陶芸の修業に派遣され、茶道という最も新しい文化を日本の辺地、薩摩に持ち込んだ功労者の一人です。

義弘は金海を愛し、居を移す度に金海もこれに従い、帖佐釜、加治木窯、そして最後は薩摩官窯、堅野窯の開祖となりました。この系統は君側にあつて恩寵を受けつつ、名工を次々と産み出しながら薩摩陶芸史を飾って来ましたが、残念なことに幕末、生麦事件に端を発する薩英戦争で潰滅、再起出来ず消えて行くのです。（焼物文化の始まり）最後に残された一隻は、薩摩半島、吹上砂丘の果る所、串木野の島平港に入港しました。乗員 40 数名、むしろ漂着とも言えるような格好悪い惨めな上陸だったようです。直接的支援は受けなかった串木野に上陸した 40 余名の陶工の動きは小気味がよい位、生き生きしたものがあります。自力で生きる決意をした人間にはとても魅力を感じずるものです。しかも薩摩の国には釉薬のかかった、高温で焼き上げた焼物はない土地です。まさに現代のハイテクの戦士のような魅力溢れる人間に見えたのでしょう。陶工達も大したもの。生活の中に焼物文化がないことを見抜くと早速、まず近くの火山灰台地の下から鉄分の多い、いわゆる「黒土」を発見して仕事を始めるのです。第一陶器「黒もん渡来最初に築かれた窯跡を、昭和 16 年、文部省の小山富士夫氏等が発掘研究した資料があります。それによれば、出土した製品の破片の 70 パーセントは水甕の破片だったようです。現在、黒もんと呼ばれ、この時代の寵児とも言える黒薩摩は薩摩焼の長男です。金海が君側にあつて、最尖端の茶陶の導入という最高の文化的使命に奔命していた時、第三の船、串木野上陸の陶工達は、朝鮮時代の物づくりの特技を活かしながら、日本の庶民の中に入って行く。やがて陶工達は串木野の地より現在の東市来町美山へと移住します。現在の美山（旧苗代川）に辿り着いた時は、疲労の極に達し、「一見乞食の如し」と古書はその状況を記しています。苦勞の極とは言え、しかし、苗代川の風景は疲れた目に不思議な懐かしさを感じさせたい。「この地、故山に似たり」海が望めるこの美山の地は、海の彼方の故郷に一直線という安心を生み、もうここでよいと思ひ定め、一同は農夫の下働きをすることにして、この地に住み着いて行くのです。受難の第三船の乗組陶工達は、望郷の想いとロクロと窯から離れる淋しさを味わいながらも結果は再びロクロを廻し、窯の火を掲げるのも、この地であるとは、その時は想像もしなかったことでしょう。

フィンランドD1430 地区GSEチーム受入れ
 11月2日(月)～5日(木) 於：屋久島
 主な訪問先：屋久島町役場・南日本酪農協同組合・
 岳南中学校



11/23(祝)霧島ウォーキング 参加者 21名
 中央駅バス 8:30→えびの高原・不動池より池めぐり・
 六観音御池・白紫池・希望者のみ白鳥山→えびの高原
 にて昼食→霧島神宮・高千穂牧場散策→中央駅 17:00



ペンリレー⑩ 会員名 久保山芳昭
 私は、ロータリーに入会して8年に成ります。
 ロータリー名簿に8枚の顔写真がのっています。
 年数は重ねていますが、まだまだわからない事ばかりです。
 例会やいろんな行事・勉強会など進んで出席して色々と学んで行きたいと思っています。

先日、熊本方面へ紅葉見物に出かけました。
 朝少し早めの出発で、高速を走り熊本インターより南阿蘇へ阿蘇外輪の紅葉は美しく、赤や黄色と、色に染まった中に杉の木の緑が、又それぞれの美しさを強調している様に思えて印象的でした。
 それより、大分竹田市の岡城まで足を延ばし、岡城はもみじの木も大きく、何色かのもみじ、銀杏、さくら、の大木が沢山あり、それぞれ美しさを競い合っているようで紅葉を存分楽しむことが出来ました。
 又岡城の石垣の壮大さと緻密さには目を見張るものが有りました。
 岡城は、紅葉と、石垣と、瀧連太郎の銅像が有るだけですが、なにか優しさを感じました。
 熊本市内に一泊して、次の日は菊池渓谷へ行きました。
 雨模様の渓谷でしたが、流れる水は透きとおりで小さな滝つぼは深く青い滝つぼ、流れる川の中の岩には紅葉の落葉が重なり合い川までが紅葉に包まれているようでした。
 身も心もほぐされた様な、楽しい紅葉の旅でした。

それでは次のバトンは大変忙しい水迫さんへお願いします。

～家族会のお知らせ フェロシップ委員会より～
 日時：12月24日(木)18:00～例会
 18:30～家族会

場所：東急イン2F
 会費：大人5,000円、中高生3,000円
 小学生以下無料

今年最後の例会でもあります。
 沢山のご参加をお願い致します。



出席報告	会員数	出席	出席率%
第594回 11月26日(木)	54	35	64.81
第592回 11月12日(木)訂正	54	43	79.63

市内他RCプログラム ★例会時間・場所等の変更			
月日曜	RC	プログラム	例会場
12月4日(金)	鹿児島RC	ゲスト卓話 株式会社スポーツフロンティア鹿児島 代表取締役 大山亮平様	山形屋
12月7日(月)	中央RC	ビデオ紹介 堅固な財団	山形屋
12月8日(火)	東南RC	会長幹事 前期を終えて	サンロイヤルホテル
12月8日(火)	城西RC	年次総会(次期理事・役員選出)	東急イン
12月9日(水)	南RC	★忘年家族会 18:00～	サンロイヤルホテル
12月9日(水)	西RC	上期を終わって(所感・講評)	山形屋
12月9日(水)	西南RC	クラブ協議会(年次総会)	ゆうづき
12月10日(木)	東RC	年次総会	山形屋
12月10日(木)	北RC	会計・SAA選出	東急ホテル